



施設紹介



近隣施設・交通・食事の案内

近隣施設との連携

オーパルからの移動時間(自動車利用)

寺社・博物館

- 琵琶湖博物館 ……約25分
- 比叡山延暦寺 ……約25分

主要地点

- おごと温泉 ……約5分(徒歩15分)
- 大津市中心部 ……約30分
- 近江八幡市 ……約50分
- 高島市 ……約50分
- 彦根市 ……約90分

オーパルへの交通案内

主要ICと駅からの移動時間

バス

(大型バス10台駐車可能)

1. 名神高速「京都東IC」より湖西道路経由で約20分
2. 名神高速「栗東IC」より約45分
3. JR京都駅八条口バスターミナルより約45分

電車

- JR京都駅より約20分
- 湖西線「おごと温泉駅」下車徒歩約15分

食事の案内

施設内のレストランにてランチBOXやBBQを提供しております。



問い合わせ先

オーパルオペテックス株式会社 体験学習等推進チーム

〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5-265-1 TEL.077-579-7111 FAX.077-579-8135

Web <https://www.o-pal.com/>

Mail biwako@o-pal.com

WEBはこちら! ▶

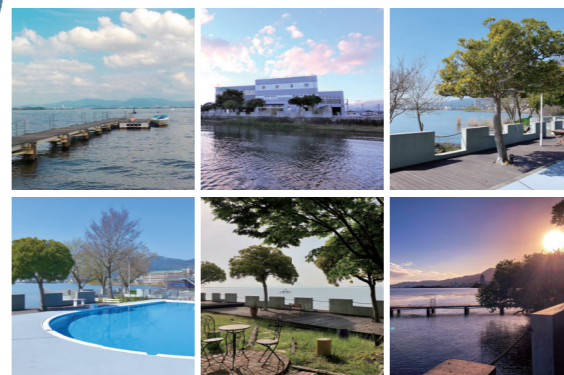


O'PAL

OUTDOOR SPORTS ACTIVITIES

法人向け環境体験研修のご案内

母なる湖と称され、豊かな自然環境に恵まれた「びわ湖」でメンバーが目標に向かって一丸となって体験活動をすることで、個の力とチームワークの向上を目指す研修です。また、びわ湖での環境保全への取り組みや課題を認識し、国連が提唱するSDGsの意義への理解を促します。普段の職場とは異なる環境でメンバーとゴールを共有し、目標の達成を目指すことで、チームワークの重要性と環境保全の大切さを学ぶ研修活動です。



環境保全への理解促進

個の力とチームワークの向上

びわ湖に学ぶ

Program

1

チームビルドの醸成

「びわ湖に学ぶ」環境体験研修では、普段の職場とは違う環境でメンバーとアクティビティを通じて力を合わせゴールを達成するという様々な体験を通じ、成果の大きさを実感し、普段のチームの中での自分自身の行動を振り返るきっかけを得ることができます。研修を通じて普段は知らなかったメンバーの一面に触れたり、意識しなかった個性を改めて感じたり、チームが全力で取り組み協力することで、自分の役割を主体的に、責任を持って果たすことの重要性を実感を持って理解することができる研修です。



プログラム紹介

非認知能力を養う ▶ 共同で目標達成をめざすチームビルドを行い、協調性や主体性などの非認知能力を養います。



◎実施時期・・・4～11月 ◎所要時間・・・4～6時間 ◎体験人数・・・20～300名

モデルプラン	Group
9:30	オーバル到着・開始式・荷物移動
10:00	アイスブレイク ※緊張緩和
10:30	非認知能力向上プログラム ※主体性や表現力の向上(カヌー体験やエビパディスタンドアップなど)
11:30	昼休憩(集合写真撮影)
12:20	チームビルディング ※協調性やコミュニケーション力の向上(ドラゴンボートやいかだ作成など)
13:20	移動と休憩
13:30	チームビルディングの成果まとめ ※チーム力の向上(ドラゴンボートレースやいかだレースなど)
14:30	活動終了・着替え・閉会式
15:00	オーバル出発



プログラム紹介事例



ドラゴンボート体験

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

1艇約20人で漕ぐ船を使い、協調性を育みます。体験後に対抗レースを設定し、スポーツ感覚で取り組むことが可能です。湖上では水鳥や水草などの観察を行います。

★他に「カヌー体験(1人乗りまたは2人乗り)」も人気プログラムです。



非認知能力向上プログラム

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

自然素材を活かしたゲームや、仲間と協力してクリアする課題などを通して、協調性や表現力、創造性などの能力の向上を目指すプログラムです。指導者がお客様の要望に合わせて、課題設定を行います。

「非認知能力」とは

数値化できる認知能力とは別に、仲間と共に様々な体験・挑戦をすることで育まれる、協調性や自律性、やり抜く力や創造力などの能力を「非認知能力」と呼びます。目標に向かって頑張る力や他者とうまく関わる力なども含まれ、日々の生活を豊かにする能力と言われています。

Program

2

環境保全の理解

「びわ湖に学ぶ」環境体験研修では、「環境保全とは?」といった抽象的な内容ではなく、「びわ湖」自体に存在する様々な環境保全に対する課題を認識するため、「生物多様性」や「自然環境」、「水質保全」といった具体的なプログラムを中心に取り組みます。びわ湖の環境を取り巻く様々な課題も、突き詰めていくと、幾多の問題がお互いに関連しあい、共通点が浮かび上がってきます。そこで、国連が提唱するSDGsの項目に基づき、改めて環境保全について認識を理解、共有し、考えるきっかけになる研修です。

プログラム紹介

自然を学ぶ ▶ びわ湖の自然環境や生物を観察し、自然について学習します。



◎実施時期・・・4～11月 ◎所要時間・・・4～6時間程度(内容により変動) ◎体験人数・・・20～300名

モデルプラン	Group A	Group B	Group C
9:30	オーバル到着・開始式・荷物移動		
10:00	カヌーでヨシ帯観察	クラフト体験	ドラゴンボート体験
11:00	休憩と移動		
11:10	ドラゴンボート体験	カヌーでヨシ帯観察	クラフト体験
12:10	昼休憩(集合写真撮影)		
13:30	クラフト体験	ドラゴンボート体験	カヌーでヨシ帯観察
14:30	活動終了・着替え・閉校式		
15:00	オーバル出発		



プログラム紹介事例



カヌーでヨシ帯観察

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

1人乗りまたは2人乗りのカヌーを使い、主体性や協調性を育みます。カヌーで移動する機動性を活かし、ヨシ帯での自然観察を行います。湖面に近く、水中を観察したり、水のおいや水温、風の息吹を感じることができます。



クラフト体験

◎所要時間 60分 ◎体験人数 20～80名

びわ湖の環境について重要な役割を担っているヨシについて学びます。ヨシ紙を使った笛づくり(クラフト)を行います。「人と自然の繋がりをを感じる力」を養うことを重要視します。